

上場制度整備懇談会
第40回 議事要旨

1. 日時：平成26年7月18日（金）午後1時から午後1時50分まで
2. 場所：東京証券取引所会議室
3. 議題：
議論のとりまとめ（公募増資、ライツ・オファリング）
4. 議事要旨

(1) 公募増資について

日本証券業協会が設置した「我が国経済の活性化と公募増資等のあり方分科会」より検討を要請されていた、資本政策に係る考え方の決算短信での開示の義務付けについて、前回までの上場制度整備懇談会における議論の状況を踏まえ、事務局より以下の内容を上場制度整備懇談会の結論とする旨、報告を行った。

- ◇ 決算短信での開示の義務付けは見送ることとする。
- ◇ 一方で、公募増資が投資家に配慮して行われるべきこと、資本政策の開示が経営者の意識付けに有用であることについては一定の合意が存在していることを踏まえ、今後日証協で取組みが行われるのであれば、それを支援する方向で検討する。

(2) ライツ・オファリングについて

これまでの議論をとりまとめた報告書「我が国におけるライツ・オファリングの定着に向けて」の原案について、事務局より報告を行ったところ、以下の意見があった。

- ・ 新株予約権の円滑な価格形成に向けた対応について、改正会社法の施行後は新株予約権無償割当ての効力発生日から権利行使できるよう、東証は関係者との間で事務日程の確認を行うことが望まれる。
- ・ ノンコミットメント型ライツ・オファリングへの対応について、対応後の取引所の具体的な実務については、対外的に十分に説明することが望まれる。

(なお、議事要旨については、東証上場部文責による。)

－問合せ先－

株式会社東京証券取引所 上場部企画グループ
TEL：03-3666-0141（大代表）